

(様式1)

## 平成30年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)  
富山県21世紀の森 森林政策課

2 施設所在地  
富山市八尾町杉ヶ平

3 施設設置年度  
昭和58年度

4 設置目的  
優れた自然の風景地において青少年に森林とのふれあいの場を確保し、もつて青少年の心身の健全な発達に資するため、富山県21世紀の森を設置する。

5 施設概要

- 1 森林学習展示館（鉄筋コンクリート2階建て：敷地面積478㎡）
  - ・展示室178㎡
  - ・事務室25㎡
  - ・会議室61㎡
  - ・器具倉庫38㎡
  - ・便所等29㎡
- 2 屋外施設
  - ・山菜の森等森林 5.7ha
  - ・遊歩道 5,172m

6 指定管理者  
NPO法人大長谷村づくり協議会

7 指定期間  
5年  
平成30年4月1日 ～ 令和5年3月31日

### 8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

H26	H27	H28	H29	H30
13,061	12,242	12,466	11,350	8,669

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

H26	H27	H28	H29	H30
—	—	—	—	—

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H26	H27	H28	H29	H30
—	—	—	—	—

## 9 評価項目

### (1) 利用者数・収入の増減に対する評価

白木峰へ至る林道大谷線が大雪にて被災し、年間を通じて通行止めとなった影響で、登山客等が大幅に減少したことから、当該施設を利用する利用者減につながった。  
なお、平成30年度からチラシ(行事予定表)のデザインを刷新し、アウトドア用品店に配布するなど利用者が増加する取り組みに努めている。  
また、自主事業の開催や利用者の要望に応じた現地ガイドなど、自然豊かな当該施設の魅力を更に伝えている。

### (2) サービス向上に向けた取り組み

自主事業として山菜、白木峰登山、きのこツアーなどを開催し、当該施設の魅力向上に努めた。企画事業、自主事業以外にも利用者の要望に応じ現地ガイドを実施するなど利用者へ魅力を伝えている。

### (3) 利用促進(収入増)に向けた取り組み

旅行事業者と連携したツアーを10回実施し、21世紀の森の魅力を伝えるよう努めている。また、報道取材に積極的に応じ、広報に努め、更にSNSで情報発信を実施し、当該施設の知名度向上を図っている。

### (4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

#### ① アンケート結果

実施方法	実施時期：開館・イベント開催時 実施方法：受付設置、イベント開催時配布
回答者数	45団体
結果	良かった72%、普通26% 等
結果を踏まえた改善事項	引き続き、利用者のニーズに合わせた施設管理・運用を心がける。

#### ② その他利用者の声を反映させる取り組み

関係機関(県・市)との意見交換会や地元商工会、青年団、施設の支援者組織からの意見を参考にしている。

#### ③ 主な苦情と対応

- ① 遊歩道散策マップがあれば良い←R1作成・施設に設置予定
- ② 遊歩道看板が古く読み取れない←R1施設修繕予定

### (5) 個人情報保護の取り組み

個人情報の保護に関し、従事者に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

### (6) 関係団体との連携

富山市が設置している周辺の施設(大長谷温泉、長期滞在型市民農園)から当該施設へ立ち寄れるように連携が図られている。

### (7) 施設・設備の維持管理

自主点検の実施や除草、除雪を実施するなど、適切に管理されている。大雨・強風の後やイベント実施前は、巡回点検を実施し、施設の安全利用のための管理がなされている。

### (8) 危機管理・安全管理などの取り組み

- ・草刈り機の使用にあたり、安全講習会の実施。
- ・利用者に対しクマやスズメバチ、マムシや有毒植物等への対策を指導。
- ・遊歩道の点検および整備の実施。

## 10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無	回数(有の場合)
有	9
有	4
無	—
無	—

### 【トラブルの具体的内容と対応】

無

## 11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

- ・利用促進に向け、現在の管理水準を維持するとともに、周辺施設や関係団体との連携を図り、利用者のニーズを把握する。
- ・遊歩道案内看板の劣化が激しく、内容が読み取れないため、県と連携を図りながら看板の修繕を検討していただきたい。
- ・職員全員が良いガイドとなれるよう、特に若い世代の利用者に対するガイド能力について向上を図る。
- ・広報活動に積極的に取り組み、当施設に関連するイベント等の普及啓発に努める。